【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2006-196188(P2006-196188A)
【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-029
【出願番号】特願2004-374904(P2004-374904)
【国際特許分類】
*Ｈ０５Ｂ　33/12　(2006.01)*
*Ｇ０９Ｆ　 9/30　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/12　Ｃ
Ｈ０５Ｂ　33/12　Ｂ
Ｇ０９Ｆ　 9/30　３９０Ｃ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月5日(2007.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】発光装置及びテレビ受像機
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発光色がそれぞれ異なる発光素子を複数含み、
前記発光素子の少なくとも一は、一対の電極間にｎ（ｎ≧２の自然数）層の発光層を有し、
前記ｎ層の発光層のなかで少なくとも一層は三重項励起状態からの発光を呈する物質を含み、
前記発光素子からの発光を組み合わせて表示を行うことを特徴とする発光装置。
【請求項２】
発光色がそれぞれ異なる発光素子を複数含み、
前記発光素子の少なくとも一は、一対の電極間にｎ（ｎ≧２の自然数）層の発光層を有し、
前記ｎ層の発光層において、ｍ（ｍはｎより小さい自然数）層目の発光層と（ｍ＋１）層目の発光層との間には、前記ｍ番目の発光層におけるイオン化ポテンシャルよりも大きいイオン化ポテンシャルを有すると共に、前記（ｍ＋１）層目の発光層における電子親和力よりも小さい電子親和力を有する層が設けられ、
前記発光素子からの発光を組み合わせて表示を行うことを特徴とする発光装置。
【請求項３】
発光色がそれぞれ異なる発光素子を複数含み、

前記発光素子の少なくとも一は、一対の電極間にｎ（ｎ≧２の自然数）層の発光層を有し、
前記ｎ層の発光層のなかで少なくとも一層は三重項励起状態からの発光を呈する物質を含み、
前記ｎ層の発光層において、ｍ（ｍはｎより小さい自然数）層目の発光層と（ｍ＋１）層目の発光層との間には、前記ｍ番目の発光層におけるイオン化ポテンシャルよりも大きいイオン化ポテンシャルを有すると共に、前記（ｍ＋１）層目の発光層における電子親和力よりも小さい電子親和力を有する層が設けられ、
前記発光素子からの発光を組み合わせて表示を行うことを特徴とする発光装置。
【請求項４】
発光色がそれぞれ異なる発光素子を複数含み、
前記発光素子の少なくとも一は、一対の電極間にｎ（ｎ≧２の自然数）層の発光層を有し、
前記ｎ層の発光層において、ｍ（ｍはｎより小さい自然数）層目の発光層と（ｍ＋１）層目の発光層との間には、４族乃至８族のいずれかに属する金属原子を含む金属酸化物と共に、芳香族アミン系化合物を含む層が設けられ、
前記発光素子からの発光を組み合わせて表示を行うことを特徴とする発光装置。
【請求項５】
発光色がそれぞれ異なる発光素子を複数含み、
前記発光素子の少なくとも一は、一対の電極間にｎ（ｎ≧２の自然数）層の発光層を有し、
前記ｎ層の発光層のなかで少なくとも一層は三重項励起状態からの発光を呈する物質を含み、
前記ｎ層の発光層において、ｍ（ｍはｎより小さい自然数）層目の発光層と（ｍ＋１）層目の発光層との間には、４族乃至８族のいずれかに属する金属原子を含む金属酸化物と共に、芳香族アミン系化合物を含む層が設けられ、
前記発光素子からの発光を組み合わせて表示を行うことを特徴とする発光装置。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一において、
前記ｎ層の発光層のそれぞれに含まれている発光物質は、それぞれ発光色が異なることを特徴する発光装置。
【請求項７】
請求項１乃至請求項６のいずれか一において、
前記発光素子と、回路基板とを含むモジュールが筐体に組み込まれていることを特徴とするテレビ受像機。